

あなたと共にあゆむ



いまへの

議会の  
だより

No. **133**  
2003年1月1日発行

[新年号]



## 今別町の躍進を照らす〈日の出〉

参事局 兼  
事務局長  
澤田 嘉男  
工藤 明美

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
佐藤 豪  
島中 春光  
平山 順一  
阿部 修吾  
宮本 清七  
中嶋 保昌  
阿部 信一  
嶋中 忠也  
明田 平苗  
長島 三千次  
小鹿 勉

議員 阿部 多喜男  
副議長 齊藤 喜代光  
議長 長嶋 春光

今別町議会（議席順）

平成十五年元旦

賀正  
旧年中の御苦情を多くお礼中  
上町とすと共に来年もまたおのこ文植  
いとろにお慶い申し上げす

# 年頭にあたり

今別町議会議長

嶋 中 春 光



## 2003年は

## 新交通時代の幕開け

二〇〇三年の年頭にあたり、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

今年一年が明日への希望に満ちた日々であつてほしいと願っております。

しかし、現実是最悪の不況下での幕明けであります。昨年は企業の倒産、工場閉鎖、そして撤退が相次ぎ、職場を失った多くの人々が生活不安に追い込まれました。バブルがはじけて以降毎年のことではありますが、新年を迎えて「おめでとう」と言うのがはばかれる思いでさえあります。

冷えきつた景気を回復するための内需拡大が叫ばれておりますが、楽観的な見通しはほとんど無いのが実情ではないでしょうか。こうした現状を乗り越えるには「企業の社会的責任」、そして「政治」「行政」の責任は誠に重いものがあります。

このような認識に立ち、今、最も優先されるべきものと言え、雇用の促進に最大限の努力が望まれるのではないのでしょうか。逆境を強いられる人々に明るい転機が一日も早く訪れることを念じる思いです。

世の中がグローバル化する中で地方自治体の今後あるべき姿の検証は広い視野に立つことがお互いの共通認識であり、その意味で今年は今後に向けて大いに期待を抱かせるうれしいことでもあります。その第一は、待望久しい町民センター（役場庁舎と多目的機能を備えた施設）が着手される予定になっており、そしてまた、新幹線盛岡・八戸間が昨年十二月一日に開業され、あわせて八戸・三厩間に「快速」さらにきらみちのく号も開業されました。県・町にとっては画期的な新交通時代を迎えました。

一〇〇年の大計で市町村の合併問題を考えるとき、観光客の誘致をはじめ地域の活性化など沿線自治体がこの新しい資源をいかに生かしていくか……。

いずれにしても住民の意向が不可決であるのは当然のことではありますが、我々議員も一丸となり努力しなければならぬと決意するものがあります。

今後とも、町民の皆様には一層のご支援とご協力を切にお願い申し上げます、町の益々の発展と皆様のご多幸を念じて新年のご挨拶と致します。

# 議会情報

## ●平成13年 議員年間の出頭日と内容

平成13年1月1日から12月31日までの公務出頭日数

役職	出頭日数	役職	出頭日数
議長	81	常任委員長	38
副議長	44	議員	32

### 〈公務で出頭日の内訳表〉

会議名	日数	備考
本会議	19	定例会4回 臨時会5回
常任委員会 総務	4	
	4	
産業	4	
町民センター建設特別委員会	1	
議会運営委員会	9	
議会広報編集委員会	4	
議会研修会	9	県主催・圏域 議長会主催等
全員協議会	4	
組合議会	3	2組合の議会日
町内外その他の行事に総日数46日議員代表者が出席した		

## ●平成13年(H13.4～H14.3) 議長交際費明細

予算額	250,000円
支出	127,440円
残高	122,560円

慶事	(見舞・香料)	冠婚葬祭	内訳	金額	備考
97、440円		30、000円	金額		
町内外関係		議員関係	備考		
		30、000円			

議長交際費明細内訳(平成13年度)

## 在職年数別議員数

(平成14年7月1日現在)

期間	4年以下	4年をこえ 8年以下	8年をこえ 12年以下	12年をこえ 16年以下	16年をこえ 20年以下	24年をこえ 28年以下
人数	5人	2人	1人	2人	2人	2人
年内訳	53歳 1人	53歳 1人	75歳 1人	71歳 1人	65歳 1人	64歳 1人
	54歳 1人	68歳 1人		75歳 1人	69歳 1人	58歳 1人
	61歳 1人					
	64歳 1人					
	66歳 1人					

# 町議会議員選挙状況

(補欠選挙除く)

(昭和47年以降)

選挙期日	当日の有権者数	投票者数	投票率
昭和47. 3. 5	4,498	4,304	95.69%
51. 3. 7	4,739	4,555	96.12%
55. 3. 9	4,817	4,624	95.99%
59. 3. 4	4,901	4,655	94.98%
63. 3. 6	4,633	4,285	92.49%
平成 4. 3. 8	4,313	3,894	90.29%
8. 3. 3	4,085	3,493	85.51%
12. 3. 19	3,914	3,507	89.60%

## 「ラブ・今別会交流会」へ出席

流会では、出身地区ごとのテーブルを囲み、ふるさとの懐かしい話や町に対する期待感などで会場は盛り上がりました。

10月5日、4年に1回開催のラブ・いまべつ交流会世話人会長、南吉雄氏（今別出身）が、東京都の国立オリンピック記念青少年センターで開かれ、関東在住者の町出身者約51人とともに、議会からは中嶋保昌総務文教常任委員長が出席しました。交



さんじ  
きゅうけい



年末年始、忙しげに行き来する人々の群をテレビで見ながら、「せっかち」という言葉を広辞苑で調べてみたら、「先を急いで心のおちつきがないさま・性急」とあった。

米国の心理学者が、先進国の大都市にある銀行の時計の正確さ、目抜き通りの歩行者の歩く速度、郵便局の窓口での切手の売りさばきの早さの3点について調べたことがある。どの国の人たちが、最もせっかちかを知るための調査である。結果は、いずれも日本が一番と出た。「せっかち」といえば、「あなたは何分待てますか」という調査もあった。その結果、もつとも早くいらいらするのは、20才代の女性で11分11秒。男性では40才で11分40秒だった。なんとか我慢できるのは10分ぐらいで、それ以上はいらいらというわけである。

正確さや早さは、それ自体は立派なことである。しかし、度がすぎたりすると、「せっかち」というマイナス点が与えられる。自動車のハンドルではないが、どこかに遊びの部分が必要なのだろう。